

研究実施のお知らせ

2020年1月17日 ver.1.02

研究課題名

急性期不眠に対する後方視的研究（Acute insomnia: A retrospective study）

研究の対象となる方

2006年9月から2018年6月の間に島根大学医学部附属病院入院された方

研究の目的・意義

ご病気や治療に対する不安、環境の変化などから入院患者さんの3割以上の方が不眠を訴えられます。この急性の不眠は原疾患の治療を妨げるだけでなく、慢性に移行しやすく、その後の生活の質も悪化させる危険性があります。残念なことに、多くの不眠治療に対する知見は慢性期不眠を対象として研究されてきており、このような急性の不眠に対する標準的な治療方法は確立されておられません。

当院では2006年9月より電子カルテを導入し、入院中の日々の睡眠状態について看護師が記録してきています。本研究では、このデータを用いて、どのような方が急性期不眠を発症しやすいのか同定し、そのような方に集中的にケアができるようにします。さらに、これまで慢性期不眠の知見を援用し行ってきた治療法についても、比較検討することでどの治療方法が急性期の不眠に有用か検討を行い、急性期不眠の安全で効果的な標準治療方法の確立を目指します。

研究の方法

カルテ情報（看護データ、採血データ、処方、お薬手帳記載の持参薬情報、病名、入院期間、年齢、性別、既往症）を用います。

新たに取得するデータはありません。

個人情報が分からない形でデータを解析し、個人情報を完全に排除した状態で研究成果は発表されます。

研究の期間

2018年7月6日～2023年12月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部精神医学講座が行います

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2018年7月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：伊豆原 宗人

島根大学医学部精神医学講座／附属病院精神科神経科

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2262 FAX 0853-20-2260